

ライブセッション in 再生医療 ③

～細胞機能を高めるバイオテクノロジーとして再生医療を考える～

- ・ 関西再生医療産業コンソーシアム(KRIC) では、登録企業とアカデミアが連携し、マッチング案件の創出を目指すプログラムに取り組んでいます。
- ・ 本イベントは、講演を聞くだけでなく、**少人数制だからできる活発な質疑や講師とのディスカッションを通じ、より深い理解を得ると共に、事業展開のヒントを掴んでいただくことを狙い**としております。
- ・ 新たなビジネスチャンスを発掘する場として、是非ご参加下さい。

概要

日時 / 令和 4 年 11 月 9 日 (水) 14:00～16:30 (予定)

場所 / アンカー神戸 イベントホール (神戸市中央区加納町4丁目 2-1 神戸三宮阪急ビル15階)

定員 / 50名程度 (定員を超えた場合は主催側で調整することがあります)

参加費 / 無料

プログラム

■ 講演テーマ

「加齢性疾患における老化細胞の役割」

■ 講師

公益財団法人がん研究会 がん研究所 細胞老化研究部 部長
NEXT-Gankenプログラム がん細胞社会成因解明プロジェクト
プロジェクトリーダー兼任

高橋 暁子 先生

■ ファシリテーター

京都大学 医生物学研究所 教授
再生組織構築研究部門 生体材料学分野
京都大学大学院 工学研究科 高分子化学専攻 教授

田畑 泰彦 先生

■ 講演概要

- ✓ わが国では、がん・動脈硬化・アルツハイマー・肺線維症・骨粗鬆症のような加齢性疾患の増加が深刻な社会問題となっており、その発症要因として老化細胞が関与しているとされています。
- ✓ 細胞老化はストレスによって誘導され、炎症性蛋白質を細胞外へと分泌するSASP (Senescence-Associated Secretory Phenotype) をおこすことで、加齢性疾患の発症や個体の機能低下の要因となっていることが近年明らかになっています。私たちは、これまでに老化細胞でSASPがおこる分子機構の解析や、老化細胞が分泌するエクソソームの解析を行ってきました。
- ✓ 最近では、老化細胞に選択的に細胞死を誘導することで加齢性疾患の発症やがんを抑制しようとする新しい治療戦略が注目されています。本講演では、がん微小環境における細胞老化の機能とSASPに関する最新の知見を紹介します。



- ・ 主催 / (公財) 新産業創造研究機構 (NIRO)、近畿経済産業局 関西再生医療産業コンソーシアム (KRIC)、大阪商工会議所「次世代医療システム産業化フォーラム (再生医療等分科会)」
- ・ 申込 / 所属、役職、氏名 (ふりがな)、電話番号、メールアドレス、**高橋先生への質問事項**を記載し、以下の【申込先・問合せ先】あて メールにてお申込みください。(申込締切: 11/4(金))

● 次回以降のご案内

第4回(大阪開催)は1/27 (金) に新潟大学 寺井先生に詳細な研究内容及びニーズについてご発表いただきます。

● 申込先・問合せ先

公益財団法人新産業創造研究機構 技術・移転部門 健康・医療部 (担当: 西野) nishino@niro.or.jp